

9月7日
お子さんもお母さんががんばりました
3歳児健診でむし歯のなかった子を表彰



表彰式を終えて
 歯ピカ表彰が9月7日、町公民館で行われました。3歳児健診でむし歯のなかったお子さんを表彰するもので、毎年行われています。今年は平成30年度の同健診でむし歯のなかったお子さんに、表彰状と記念品が贈られました。表彰で役場健康こども課藤林課長から「健診時に実施しているアンケートでは、おやつを食べる時間が不規則である子ほどむし歯が多い。今後もむし歯ゼロを継続していくるように、おやつ時間の管理や仕上げ磨きなど、むし歯予防を大切にしてほしい」と話していました。

9月7日
親子で遊びを楽しむ日
第15回弟子屈町子どもフェスティバルを開催



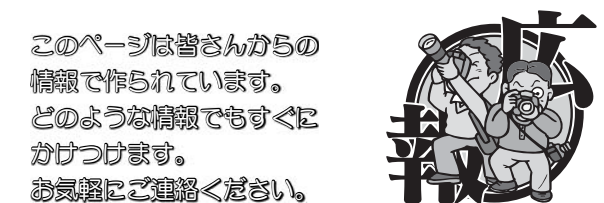
大きなシャボン玉に驚き
 第15回弟子屈町子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月7日、町公民館で開催されました。今年は「すきなあそびをみつけておやこであそぼう」をメインテーマに、小麦粉粘土やプラバン製作をする多くの親子連れなどでにぎわいました。北海道教育大学釧路校によるホバークラフト体験とくしろせんもん学校による人形劇を開催。屋外ではおやつパン焼き体験のほか、弟子屈高校の生徒が担当したシャボン玉コーナーでは、空を埋め尽くすくらい大小さまざまなシャボン玉が舞い、大いに盛り上がっていました。

8月9日
地域の役に立ちたい
(有)摩周植物園が社会貢献活動



水質改善のため水路の改修をする皆さん
 (有)摩周植物園(代表取締役古瀬廣幾)の皆さんが8月9日、水郷公園の景観と水質改善のため、水路改修と小川の清掃を行いました。観光シーズンを迎え、訪れる方に気持ちよく利用してほしいとの思いから行われたもの。清掃後にはさっそく遊びに来た子供たちが気持ちよさそうに水遊びをしていました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。
まちづくり政策課広報統計係 482-2913 (課直通)

9月20日
地域の役に立ちたい
地元企業が社会貢献活動



合田商社の皆さんによる清掃活動
 9月20日、(株)合田観光商事(合田高丸代表取締役社長)弟子屈ひまわりでは(写真上)、秋の全国交通安全運動に合わせ、道の駅「摩周温泉」で、安全運転の啓発と、同駅前駐車場の清掃活動を行いました。また、クニオカ工業(株)(今誠代表取締役)と今道東建設工業(株)(同)では(写真下)、町共進会場の整備を行いました。どちらも地域のためにとの思いから行われました。

9月10日
今後の進路決定へ向けて
職場実習発表会を開催 | 弟子屈高校



貴重な体験を発表
 弟子屈高校(宮崎岡校長)で同校2年生26人が実習先の事業所と同校1年生に、職場実習で体験したことを発表しました。職場実習は働く意義や職業人として求められる資質について学ぶことを目的に毎年行われています。今年度は6月19・20の2日間、町内の12の事業所で行われました。生徒は実習先の事業所ごとに仕事内容や学んだこと・苦労したことなどをスライドショーで発表し、その後体験先の事業所から直接発表の講評を受けました。

8月28日
てしかがの未来の中心市街地づくり
第2回中心市街地再構築全体構想町民会議を開催



グループで積極的に議論
 中心市街地再構築全体構想町民会議(今井慎也委員長)の第2回会議が8月28日、町役場で開催されました。同会議では今後のスケジュールや前回のワークショップの内容について振り返りが行われた後、参考事例として平成30年度に役場内で検討された内容について説明と質疑が行われました。後半は少人数によるグループワークを実施。「中心市街地は誰に来て欲しいのか」をテーマに行い「町民利用」や「若い人」といったキーワードと共に「経済活動を促す事も重要」といった声も聞かれ、活発な意見交換が行われました。

8月20日
若者の採用や人材育成に力
(株)宮田電気がユースエール制度認定企業に



通知書を手にする宮田社長
 ユースエール認定企業に認定された(株)宮田電気(宮田欽朗社長)の認定通知書の交付式が8月20日、同社で行われました。この認定制度は、若者の採用・育成に積極的で、その若者の雇用管理の状況が優良である企業を厚生労働大臣が認定する制度です。町内でははじめて認定されました。交付式では、釧路公共職業安定所の今井俊哉所長から宮田社長に認定通知書が手渡されました。認定通知書を手にした宮田社長は「日頃から行ってきたことが認められとても光栄。今後も働きやすい職場づくりをすすめていきたい」と話していました。

9月22日
笑顔でふれあい交流するきっかけの場
第9回ふれあい祭りが開催



世代を超えて多くの来場者が
 同実行委員会主催による第9回ふれあい祭り2019が9月22日、町社会老人福祉センターで行われました。障がいのある人も、ない人も、お年寄りも、赤ちゃんもみんなで支え合いながら生活できるまちづくりのきっかけの場として開催されているもの。飲食のブースや点字のブースなど、町内外からの出店のほか、フラメンコ、手話コーラスや川湯ばやしなどのステージ発表も行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。訪れた女性は「毎年楽しみにしている。素敵なステージにおいしいものがたくさんあって楽しい」と笑顔で話していました。

9月21日
消防士の仕事を体験!
弟子屈消防署で防火フェスティバルを開催



消防士になって放水体験
 弟子屈消防署で第24回防火フェスティバル(同実行委員会、弟子屈消防署・消防団主催)が行われました。天候にも恵まれ、たくさんの方が来場しました。フェスティバルでは、認定こども園ましゅうの園児による演舞や弟子屈小学校吹奏楽少年団による演奏、I&Mバトンスタジオの皆さんのバトンも披露されました。ヨーヨーすいくなどのゲームコーナーや抽選会も行われ、体験イベントでは防火衣を着用しての放水体験や、はしご車の乗車体験などが用意され楽しみながら防火意識を高めました。

9月6日
火の役割などを学ぶ
炎の出前教室を開催 | 弟子屈小



必死に火起こしをする児童
 北海道LPガス協会釧路支部青年委員会(青木浩二委員長)による「炎の出前教室」が、9月13日、弟子屈小学校(中原英雄校長)のグラウンドで行われ、5年生45人が参加し、火と人の関わりや火の役割、火の種類について学びました。出前教室には、同会員8人が来校し、おがくずをすり合わせる火起こしに児童といっしょに挑戦。煙が上がるとうちわで扇ぎながら火種を作り、焼き台に設置した、ミニキャンプファイアに点火しました。点火に成功した児童からは歓声があがり、火の貴重さや大切さを学んでいました。

9月2~3日
摩周湖の透明度などを確認
摩周湖で湖水のモニタリング調査を実施



バケツで湖水の採水作業
 摩周湖環境保全連絡協議会(会長・徳永町長)による摩周湖モニタリング調査が9月2・3日の2日間で行われました。これまで国立環境研究所が湖水環境モニタリング調査を行っていましたが、平成30年度を持って終了。調査継続のため、昨年11月に本町と周辺地域が主体となる同協議会を設立しました。調査は同協議会の町、国立環境研究所、北海道立総合研究機構、玉川大学が参加。湖心まで船で移動し、採水や透明度測定などを行いました。